

# 令和2年度上半期 下水道事業 業務状況説明書

## 1 事業の概況

### (1) 排水状況

当年度上半期の水洗化世帯数は246,508世帯、水洗化人口は502,976人で、昨年度同期に比べて、1,253人(0.25%)の増加となり、総排水量は26,524,472m<sup>3</sup>で、昨年度同期に比べて787,100m<sup>3</sup>(3.06%)の増加となりました。

### (2) 建設改良事業

当年度上半期の管渠建設事業では、下水道管の布設や災害用マンホールトイレの設置工事を行い、新設管渠9.66kmを施工しているところです。これは、年間実施予定の75.51%にあたります。

一方、管渠改良事業では、老朽化した下水道管の布設替え工事等を行い、年間実施予定の83.98%にあたる1.94kmを施工しているところです。

また、ポンプ場建設改良事業では、設備、装置の更新工事、令和元年東日本台風で被災した領家第八公園ポンプ場の本復旧工事等を実施しているところです。

下水道を整備し、生活環境の改善を図るため、今後も計画的に事業を推進していきます。

## 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

### (1) 収益的収支の状況

収益的収入の上半期合計額は5,194,491,366円で、予算現額11,361,588,000円に対する収入の割合は45.72%です。

主な収入である下水道使用料は、3,244,002,125円、他会計負担金は1,794,749,000円、他会計補助金は154,133,000円です。

一方、収益的支出の上半期合計額は1,665,126,428円で、予算現額10,356,995,000円に対して16.08%の執行率となっています。

### (2) 資本的収支の状況

資本的収入の上半期合計額は138,744,130円で、予算現額6,563,626,000円に対する収入の割合は2.11%です。

一方、資本的支出の上半期合計額は2,308,675,404円で、うち建設改良費520,590,106円、企業債償還金1,788,085,298円となり、予算現額9,914,378,000円に対して23.29%の執行率となっています。

## 収益的収入及び支出

### 1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 収入済額 (円)	予算残額 (円) B - A	執行率 B/A (%)
下水道使用料	6,465,164,000	3,244,002,125	△ 3,221,161,875	50.18
他会計負担金	1,794,749,000	1,794,749,000	0	100.00
その他営業収益	2,841,000	1,142,000	△ 1,699,000	40.20
他会計補助金	154,133,000	154,133,000	0	100.00
国庫補助金	67,624,000	0	△ 67,624,000	0.00
長期前受金戻入	2,875,801,000	0	△ 2,875,801,000	0.00
雑収益	1,275,000	459,950	△ 815,050	36.07
過年度損益修正益	1,000	5,291	4,291	529.10
計	11,361,588,000	5,194,491,366	△ 6,167,096,634	45.72

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 支出済額 (円)	予算残額 (円) A - B	執行率 B/A (%)
管渠費	655,433,000	170,190,040	485,242,960	25.97
ポンプ場費	791,271,000	256,666,223	534,604,777	32.44
普及促進費	153,589,000	19,936,367	133,652,633	12.98
業務費	340,468,000	165,596,284	174,871,716	48.64
総係費	286,304,000	49,704,940	236,599,060	17.36
流域下水道維持管理費負担金	2,293,769,000	593,786,710	1,699,982,290	25.89
減価償却費	4,834,245,000	0	4,834,245,000	0.00
資産減耗費	7,210,000	0	7,210,000	0.00
支払利息	829,700,000	406,887,421	422,812,579	49.04
消費税及び地方消費税	125,422,000	0	125,422,000	0.00
雑支出	170,000	0	170,000	0.00
固定資産売却損	37,000	0	37,000	0.00
過年度損益修正損	9,377,000	2,358,443	7,018,557	25.15
予備費	30,000,000	0	30,000,000	0.00
計	10,356,995,000	1,665,126,428	8,691,868,572	16.08

(消費税及び地方消費税込みで表示)

## 資本的収入及び支出一覧

### 1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 収入済額 (円)	予算残額 (円) B - A	執行率 B/A (%)
企業債	4,215,000,000	0	△ 4,215,000,000	0.00
他会計出資金	1,077,696,000	0	△ 1,077,696,000	0.00
他会計補助金	127,528,000	127,528,000	0	100.00
国庫補助金	1,143,376,000	11,151,000	△ 1,132,225,000	0.98
受益者負担金	17,000	17,700	700	104.12
固定資産売却代金	9,000	47,430	38,430	527.00
計	6,563,626,000	138,744,130	△ 6,424,881,870	2.11

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 支出済額 (円)	予算残額 (円) A - B	執行率 B/A (%)
建設改良費	6,320,179,000	520,590,106	5,799,588,894	8.24
企業債償還金	3,594,199,000	1,788,085,298	1,806,113,702	49.75
計	9,914,378,000	2,308,675,404	7,605,702,596	23.29

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 排水の状況

区 分	A 令和2年度 上半期	B 令和元年度 上半期	C 差 引 (A - B)	増減率 C/B (%)
水洗化人口 (人)	502,976	501,723	1,253	0.25
水洗化世帯数 (世帯)	246,508	242,242	4,266	1.76
総排水量 (m <sup>3</sup> )	26,524,472	25,737,372	787,100	3.06
1日平均排水量 (m <sup>3</sup> )	144,942	140,641	4,301	3.06

## 地方債現在高

令和2年9月30日現在

### 1 地方債

借入先	下水道会計
財政融資資金	千円 35,043,512
簡易生命保険資金	2,565,317
地方公共団体金融機構	13,604,416
市中銀行	1,084,925
合計	52,298,170

※市中銀行…埼玉りそな銀行、きらぼし銀行、川口信用金庫、青木信用金庫、瀧野川信用金庫

# 令和元年度 下水道事業決算状況

## 1 事業の概況

### (1) 地方公営企業法の適用

本市の下水道事業は、経営の健全化や効率化に向けた取り組みを強化するため、平成 31 年 4 月から地方公営企業法の全ての規定を適用し、併せて、水道局と組織を統合しました。

### (2) 排水状況

当年度における水洗化人口は 504,610 人で、前年度に比べ 5,245 人 (1.05%) 増、水洗化世帯数は 245,056 世帯で、前年度に比べ 5,122 世帯 (2.13%) の増となりました。

また、年間総排水量は 56,167,682 m<sup>3</sup>で、前年度に比べて 2,256,348 m<sup>3</sup> (3.86%) の減となり、有収水量は 51,641,936 m<sup>3</sup>、有収率は 91.94%となりました。

### (3) 建設改良事業

管渠建設事業では、2,482,009,740 円を投じ、下水道未普及地域に下水道管を新たに 11,303m 布設しました。また、災害時に指定避難所となる小学校等を対象に、災害用マンホールトイレを設置する工事を 4 箇所実施しました。さらに、令和元年度から令和 3 年度の 3 カ年継続事業である東川口駅周辺浸水対策事業を始めとする浸水対策工事を実施しました。

管渠改良事業では、812,755,010 円を投じ、老朽化した下水道管の更新工事等を実施し、下水道管 1,162m を布設しました。また、更生工事により下水道管 1,454m の延命措置を講じました。

ポンプ場建設改良事業では、438,007,800 円を投じ、元郷排水ポンプ場耐震補強工事のほか、令和元年東日本台風で被災した領家第八公園ポンプ場を復旧するための設計や二軒在家排水ポンプ場受変電設備更新工事等を実施しました。

## 2 経理の状況

### (1) 収益的収支の状況 (消費税及び地方消費税抜き)

収益的収入における総収益は 10,925,791,548 円で、内訳は、下水道使用料 5,872,050,014 円、他会計負担金 1,834,899,953 円、長期前受金戻入 2,964,506,063 円等となっています。

収益的支出に係る費用総額は 10,096,762,142 円で、内訳は、営業費用 8,409,897,406 円、支払利息 868,245,743 円、特別損失 735,021,966 円等となっています。

以上の収支により、当年度純利益は 829,029,406 円となりました。

### (2) 資本的収支の状況 (消費税及び地方消費税込み)

資本的支出の総額は 7,741,446,955 円で、内訳は、建設改良費 4,196,010,720 円、企業債償還金 3,545,436,235 円です。

資本的収入の総額は 5,393,865,200 円で、内訳は、企業債 2,946,900,000 円、他会計出資金 1,744,523,000 円等となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 2,347,581,755 円は、引継金等 716,373,407 円、当年度分損益勘定留保資金 1,337,869,202 円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 293,339,146 円で補てんしました。